令和６年度 プラットフォーム統合会議

「とくしま孤独・孤立対策官民連携」＋「生活困窮者自立支援」

日時：令和６年５月１５日（水）
　　１３時３０分から１５時３０分まで
場所：県庁１０階・大会議室
　　Ｚｏｏｍオンライン

本日の次第

（１）今後のプラットフォームの運用

（２）民間支援団体からの事例紹介・実施報告

（３）今年度の県施策

（４）今後の予定

（１）今後のプラットフォームの運用

①とくしま孤独・孤立対策官民連携ＰＦ

- 「孤独・孤立対策の輪」を広げ、
「会員団体間のパートナーシップ強化」を目的
- **「９７団体」**の官民支援機関が参画

② 生活困窮者自立支援ＰＦ

- 「現場の支援に直結する関係構築」や
「即戦力的議論につながる情報共有」を目的
- **「４６団体」**の官民支援機関が参画

（1）今後のプラットフォームの運用

③ 問題の総合的な解決に向けた支援の必要性

- 孤独・孤立になるきっかけの部分に「生活困窮」の問題が関わっていることも多い

- 家庭状況や離職などが原因で、「生活困窮」に陥り、孤独・孤立につながる

→ **「孤独・孤立」と「生活困窮」に関わる問題の総合的な解決に向けた支援が必要**

（1）今後のプラットフォームの運用

④ プラットフォームの一体的運用

- 生活にお困りの方々に「より一層寄り添った」官民連携の支援を図るため、
２つのプラットフォームを一体的運用

→　統合会議の開催による関係構築
→　セミナー、現地見学会を通じたノウハウ共有
→　メールマガジンによる最新情報の共有
→　参画団体と連携した支援活動の展開

（２）民間支援団体からの事例紹介・実施報告

① 特定非営利活動法人フードバンクとくしま
② 認定特定非営利活動法人徳島こども食堂ﾈｯﾄﾜｰｸ
③ 特定非営利活動法人ＧＷＥＩ
④ 特定非営利活動法人ふれあい福祉の会山びこへるぷ
⑤ 一般社団法人キラニコ
⑥ 社会福祉法人徳島県社会福祉事業団
⑦「徳島こども食堂ナビ」管理運営委員会
⑧ 子どもゆめスクエア
⑨ 社会福祉法人共生会

特定非営利活動法人　フードバンクとくしま

＜活動内容＞
①食品ロスの削減②生活困窮者支援③就労準備支援

①

①年間約10tの食品の寄贈
困窮者支援窓口にも提供

②

②越年支援の様子
12月末
のべ800名支援

社協さんによる
臨時の困窮者相談
窓口あり

③

③ロッカーステイション支援
平日に支援を受けれない方を対象に
（シングル家庭など）365日支援
のべ35名支援

④

④FB農園
中間的就労
の場

特定非営利活動法人
徳島
こども食堂
ネットワーク

徳島こども食堂ネットワーク

認定NPO法人　徳島こども食堂ネットワーク　佐伯雅子

ミッションとして

☆徳島県全小学校区にこども食堂ができること

・既存こども食堂の継続支援ができる。
・徳島県民の孤食を1食でも減らす。
・全世代の孤独感を減らす。

⇩

こども食堂を中心に、人々が繋がり、楽しく生活ができたり、生きがいを感じるような活動

地域資源である高齢者の活動の場作り・世代交流

徳島県におけるこども食堂の現状

1. 現在**144**か所のこども食堂　　半数以上が開設1年程度か未満の団体
   →複数年続くこども食堂には様々な問題を抱えている団体が存在する。

2. **128**か所のこども食堂がNWに所属

3. こども食堂の理解に地域格差がある。

徳島県のこども食堂が抱える問題

（1）運営費・資金（補助金等）	**46.2%**
（2）ボランティアスタッフの不足	**27.5%**
（3）広さや予約などの場所の問題	**17.4%**
（4）継続性の問題	**16.1%**
（5）地域や行政との問題	**8.5%**

こども食堂のイメージのギャップ

こども食堂に行ったことのある人　10％

- 困った人の行くところ
- 子どもが行くところ
- 食べられない子どもが行くところ

自分が行ってはいけないところ

発想の転換

すべての子どもたちを
　まちのみんなで
本気で応援すれば
まちのみんなが幸せになる

誰1人取り残さない
こどもはまちの子
こどもの目線

あれこれ全部やる
まちの発展につながる

徳島のこども食堂の推移

- 2017年　　7か所
- 2020年　　23か所
- 2021年　　40か所
- 2024年5月　144か所

ロジ・ハブシステムとは

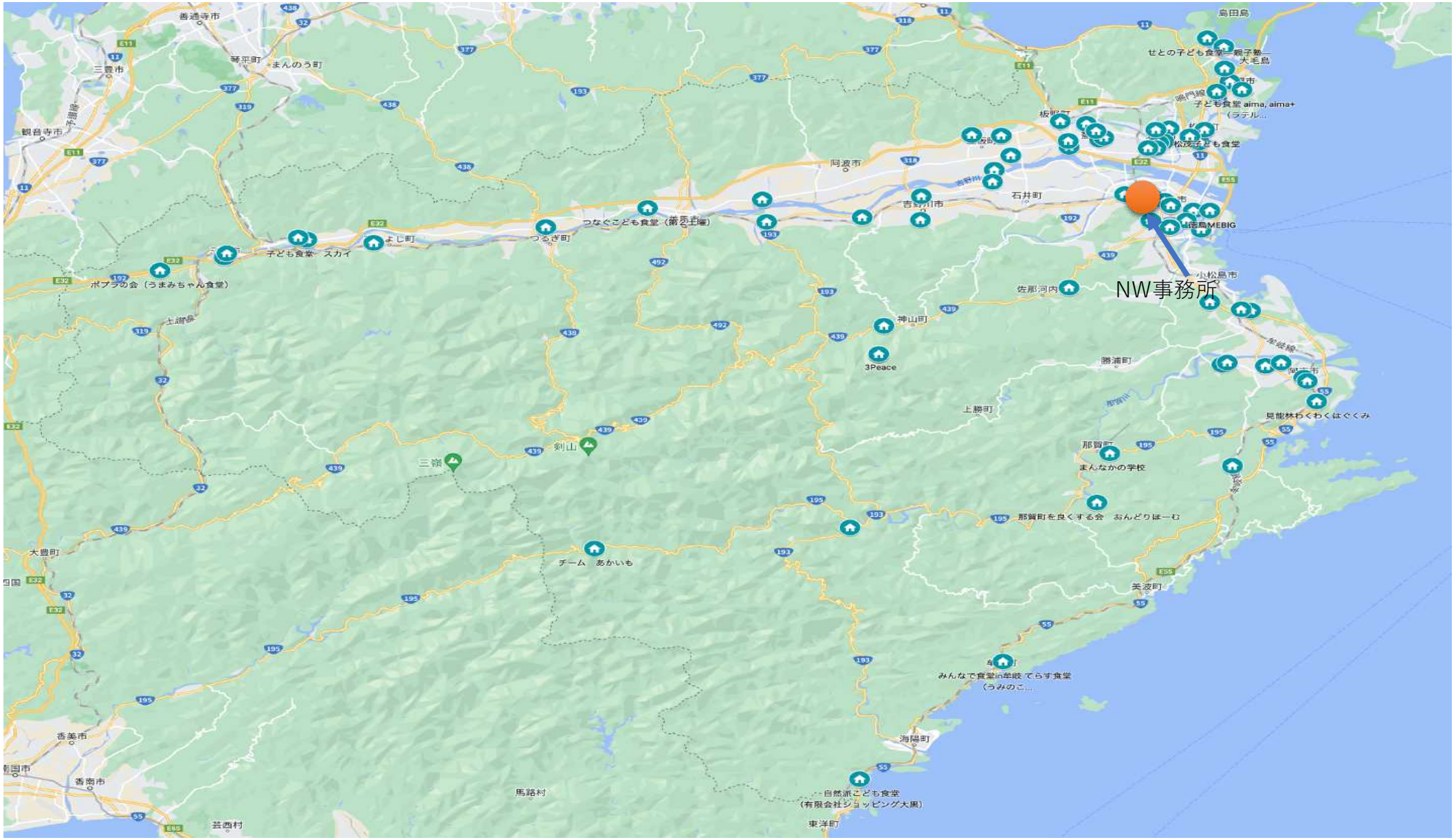
居場所の取り組みに賛同していただいた支援者の想い（食品支援）を確実に届ける

ロジ拠点　（食品のストック場所）

ハブ拠点　（居場所とロジの中継場所）

食品の保管や衛生管理等の徹底を図る仕組みが重要！！

徳島県内　こども食堂所在地



物資受入・分配・配送のための組織

- 当法人内にフードバンク部を設置し責任者を配置する
  - 支援物資の受入・分配・配送・管理マニュアルの作成
  - 地域の運送会社と連携していく
  - 要望や困りごとを支部ネットワークに対しヒアリングを実施

- いくつかの支部ネットワークを設置する

  （当面⇒細分化していく）
  - 各こども食堂に対し要望調査（必要な物資等）
  - 倉庫と物品の管理

子どもの居場所に食を届けるロジ・ハブの有効性（優しさを届ける仕組み）

支援者の想い：子どもの笑顔が見たい。
子どもたちの成長の１助になれば、、、

支援者
企業
農家
県民

要支援者
子育て世帯
貧困世帯
ひとり親世帯

協力者
行政・地域・企業・こども食堂・
社会福祉協議会等

支援・協力者の輪を広げる

ロジハブシステムを実施することで得られる成果

- こども食堂のニーズを把握することで必要な物資を必要な時に届けることができる
- 食品ロス問題の解決につながる

↓

- 各こども食堂の運営が円滑に進み、受益者が増える

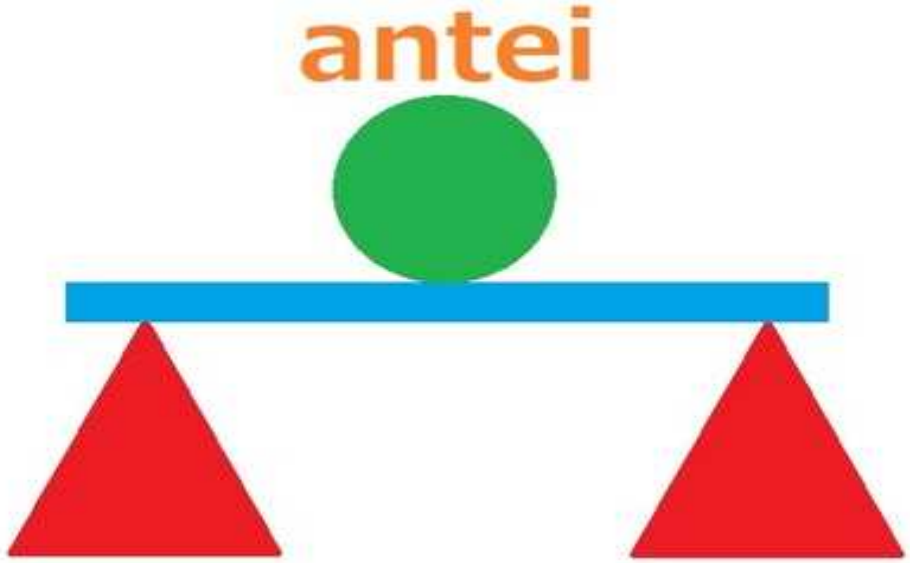
こども食堂のいろんな取組（1）

こども食堂のいろんな取組（2）

こども食堂のいろんな取組（3）

こども食堂のいろんな取組（4）

ネットワークの存在が、こども食堂運営の“安心・安定”につながり、こども達の幸せな育ちを支える一つの力になる



特定非営利活動法人GWEI

-ジーウィアイ-

事業報告

笠井美里

団体概要

特定非営利活動法人GWEI（旧：徳島の女性を元気にする会）は
女性の精神的・経済的自立のためにキャリア支援の必要性を
感じて集まった有志で2014年４月に団体を発足し
草の根で地域の女性をエンパワーメントする活動を10年続けています。

女性や若者が社会参画するための学びの場、
とくしまフューチャーアカデミーを2019年から企画運営。
コロナ禍以降は孤独・孤立で困難や不安を抱える女性の
相談対応やアウトリーチ支援、居場所づくり、生理用品の無償提供などの
事業に関わる人材育成事業を行い徳島県内全域で活動しています。

2023年度　主な事業

★グループリフレクション
　参加者同士の相互理解と親交を深め、自己理解を深め成長を促進するピアコーチング

★徳島県女性つながりサポート事業
　男女共同参画課より受託して、「相談・居場所・アウトリーチ支援・専門家相談・生理用品の無償提供・ピアサポーター養成講座」など５つの事業を県内全域で行う

★とくしまフューチャーアカデミー
　男女共同参画課の委託事業として、政策決定・意思決定過程に参画する女性と若者の人材育成講座を実施

★クリスマスギフトキャンペーン
　阿波銀福祉基金より助成をいただき25名に温かグッズをプレゼント

★シークレットサンタ企画（寄付月間～Giving December賛同企画）
　寄付により「大切な人へプレゼントを贈りたい」を叶えた

★つながりカフェ

TFA
TOKUSHIMA FUTURE ACADEMY

TOKUSHIMA
peer support
つながり支援　ピアサポートとくしま

＜とくしまフューチャーアカデミー＞
人材育成で徳島の課題を考え
政策提言を行った中に
気軽な相談窓口と
女性の居場所の必要性があった

＜女性つながりサポート事業＞
TFAの政策提言から事業となり
コロナ禍で孤独孤立を抱える女性の
居場所を作り、リアルな声を集め
県内各所で相談を聞いている

＜つながりカフェ＞
つながりサポート事業で利用者の
リアルな声を聞き
ゆっくり話せる場として考えたのが
つながりカフェ

つながりカフェ

徳島県生活困窮者支援活動経費助成事業費補助金にて実施しました

徳島県内の女性と女の子を対象に
孤独・孤立により困難や不安を
相談員に相談できる
カフェスペースを運営しました

11月～3月まで毎月1回実施し
計95人が参加しました

実施の背景

こども食堂が県内にたくさんできたけど
独身女性や子どもが大きくなった方には利用しにくく
孤独・孤立を感じている方は多くいます

コロナ禍から経済的に困窮している方や
コロナ以降の物価高騰の影響を受け生活が苦しくなっている方も多く
困っていても1人で悩んでしまう方も増えています

そのような女性が気軽に立ち寄り話ができるよう
女性の居場所として開催しました

活動内容

健康に配慮して野菜を多く使用し
全てスタッフが手作りした温かい料理を提供

参加者同士のコミュニケーションが取れるよう
なるべく相席で食事をし
各テーブルで相談員が話を聞き
困りごとのヒアリングや相談対応を行いました

相談員の他にも心理士や看護師など
専門家が同席し、希望する方には専門家支援も
受けていただけるようにしていました

利用者の声

つながりカフェに来て友達ができた!
ここで会える友達と過ごせる時間を
毎回楽しみにしています。

相談を聞いてくれるので心が軽くなった。
相談に行くハードルが下がって
一歩踏み出せるきっかけになった！

子育てをしていて孤独だったけど
温かい食事で迎えてくれて話ができて
実家に帰ってきたみたいで安心した。
明日からも頑張れそうです。

子ども第三の居場所
鳴門拠点の活動紹介

【運営団体】

特定非営利活動法人
ふれあい福祉の会
山びこへるぷ

子育て支援事業部
酒井美里

2024年5月15日

特定非営利活動法人　ふれあい福祉の会　山びこへるぷ

「みんな一緒に共に生きる」
Mission：ふれあい社会の創造

- 山びこ助け合い事業部
- 山びこへるぷケアセンター
- 居宅介護支援事業所　やまびこ
- 就労継続支援B型事業所　やまびこ
- 子育て支援事業部(2019年開設)

★「子ども第三の居場所」鳴門市内において2拠点運営
★ やまびこ子育て応援団(宅食等)

徳島県鳴門拠点「子ども第三の居場所」

- **常設ケアモデル**(2019年8月開設)
  定員20名(小学生)
  開所日　月曜日～金曜日(週5日)
  開所時間　放課後～19時30分　(おやつ、夕食付)
  ※長期休暇期間中　8時～19時(おやつ、昼食＆夕食付)
  常時スタッフ:管理者1名(常勤)、調理師1名(常勤)
  生活・学習支援員約3～4名(大学生ボランティア含む)

- **コミュニティーモデル**(2022年5月開設)
  定員20名(主に小学生、場合によっては幼稚園児、中学生も可)
  開所日　月、水、木曜日(週3日)
  開所時間　放課後～19時　(おやつ、夕食付)
  ※長期休暇期間中　11時～19時(おやつ、昼食＆夕食付)
  常時スタッフ:管理者1名(常勤)、生活・学習支援員(調理員含む)約2～3名
  (高校生・大学生ボランティアを含む)

子ども第三の居場所とは？

「子ども第三の居場所」は、すべての子どもたちが将来の自立に向けて生き抜く力を育むことを目的として、公益財団法人 日本財団が中心となって2016年より全国に開設
※現在42都道府県に全196拠点を展開（2023年12月末時点の開所済み拠点）

困難※に直面する子どもたちに、食事や歯磨きといった基本的な生活習慣を整えた上で、自己肯定感や人や社会と関わる力など非認知能力を高めるプログラムや、発達段階に応じた学習支援を実施し、「生き抜く力」を育む。

※生活困窮家庭（生活保護世帯、就学援助世帯など）の子どものほか、ひとり親、共働き孤立、虐待、ネグレクト、不登校、発達障害など、様々な困難の子どもを対象

地域の大人の見守りの中、
小学校低学年から「生き抜く力」を育む、安心して過ごせる居場所

ふれあいハウス「りぼん」の特徴

法人所有の畑にて自然農による作物の苗植や収穫、釣り等、専門の講師やボランティアの指導のもと野外活動を行っています。

児童書から図鑑、マンガ、沢山の本を取り揃え、絵本の読み聞かせ等、子どもの好奇心に対応しています。

ご利用までの流れ

STEP 1	お問い合わせ	保護者の方より、電話かメールにてお問い合わせください。この際、施設見学の予約をしていただけるとスムーズに対応出来ます。
STEP 2	施設見学	ふれあいハウス「りぼん」に直接お越しください。ふれあいセンターおおつの駐車場をご利用ください。
STEP 3	初回面談	見学もしくは利用申込時にお子様の様子をお伺いいたします。
STEP 4	利用決定	必要書類を提出し、法人の利用確定通知書が届き次第、ご利用開始となります。年度単位の更新が必要となります。

問い合わせ先

運営団体 ---------- 特定非営利活動法人　ふれあい福祉の会　山びこへるぷ

「ひとりひとりが輝くために」を合言葉に、
お子さまの意欲や関心を引き出し、様々なチャレンジを応援しています！

住所 ---------- 〒772-0031 鳴門市大津町木津野字仲ノ越84-2 ふれあいセンターおおつ2F

電話 ---------- 088-661-7466　(月・水・木)　14:00~18:00
※留守番電話の場合はお名前とメッセージを残してください
※夏季（お盆）・冬季（年末年始）の休業期間及び祝日除く

webサイト

WEBサイト --------- http://www.yamabikohelp.com

メール ---------- info@yamabikohelp.com

メールフォーム

【運営団体】

NPO法人ふれあい福祉の会
山びこへるぷ

【協力】

鳴門市

「子ども第三の居場所」は
日本財団が開設・運営を支援しています。

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

子ども 第三の居場所

「みんなが、みんなの子どもを育てる社会」を目指します

「子ども第三の居場所」

ふれあいハウス りぼん

「子ども第三の居場所」は、子どもたちの生き抜く力を育みます

「子ども第三の居場所」は、地域の子どもたちが安心して過ごせる「子どもまんなか」の居場所です。信頼できるスタッフやお友達と日々の時間を共有する中で、子どもの生活リズムが整い、学びへの意欲も高まり、子どもたち一人ひとりの生き抜く力が育まれます。

私たちの想い「みんなが、みんなの子どもを育てる社会」を目指します

近年、家族の在り方や地域とのつながりの変化により、子育ての状況も各家庭の負担が大きくなってきました。子どもの幸せを願いつつも、家庭の事情などから、子育てに対する悩みを抱えるご家庭も多いことと思います。

ふれあいハウス「りぼん」では、すべての子どもたち、そして、ご家族を地域で支えるための場所として、皆様のお手伝いができればと考えています。

5つの機会

「子ども第三の居場所」では、子どもたちの生き抜く力を育むため5つの機会を提供しています。

安心
子どもたちが安心・安全に過ごせる環境づくりに努めています。「居心地がいいな」と思ってもらえるよう、まずは　子どもたちのありのままを受け入れることから始めています。

食事
毎日栄養バランスを考慮したあたたかい食事を提供しています。子どもたちの健康を支えると共に、準備や片付け等も子どもたちと行うことで、食の大切さ、みんなで食事することの楽しさを伝えています。

生活習慣
子どもの中には、基本的な生活習慣が身についていないケースもみられます。食事、着替え、歯磨き、挨拶等の基礎的な生活習慣を整えます。また、友達や大人との関わり方を通して、社会性を培っています。

学習
学習習慣が定着するよう、毎日スタッフによる宿題指導を行ないます。分からないところまでさかのぼった学習支援に加え,“座っているのが苦手”など、学習への姿勢に課題がある場合も個人に合わせて支援します。

体験
キャンプ、料理、英語・音楽・プログラミング等の体験活動を通して、チャレンジ精神、自己肯定感、主体性、対人コミュニケーション等、「非認知能力」を育みます。

施設概要

- 住所 ---------- 〒772-0031
  鳴門市大津町木津野字仲ノ越84-2 ふれあいセンターおおつ２F
- 主な利用者 ----小学生～中学生（定員20名程度）
- 開所日 時間 -- 月曜日・水曜日・木曜日　放課後～19:00
  ※長期休暇期間中は11:00~19:00
  ※夏季（お盆）、冬季（年末年始）の休業期間及び祝日除く
- 設備 ---------- フリースペース、学習スペース、相談室、静養室、台所など
- 利用料金 ------ 0円～上限5000円／月（おやつ・お食事込み）
  （小学生・中学生）　＊減免制度については初回面談の際にご相談ください
- スタッフ ------ 常時3名程度。
  保育士・教員免許保持者・調理師・教育＆子育て経験者など
  ＊保護者の方やご家族の子育てに関するご相談にも応じることが可能です

ふれあいハウス
りぼん

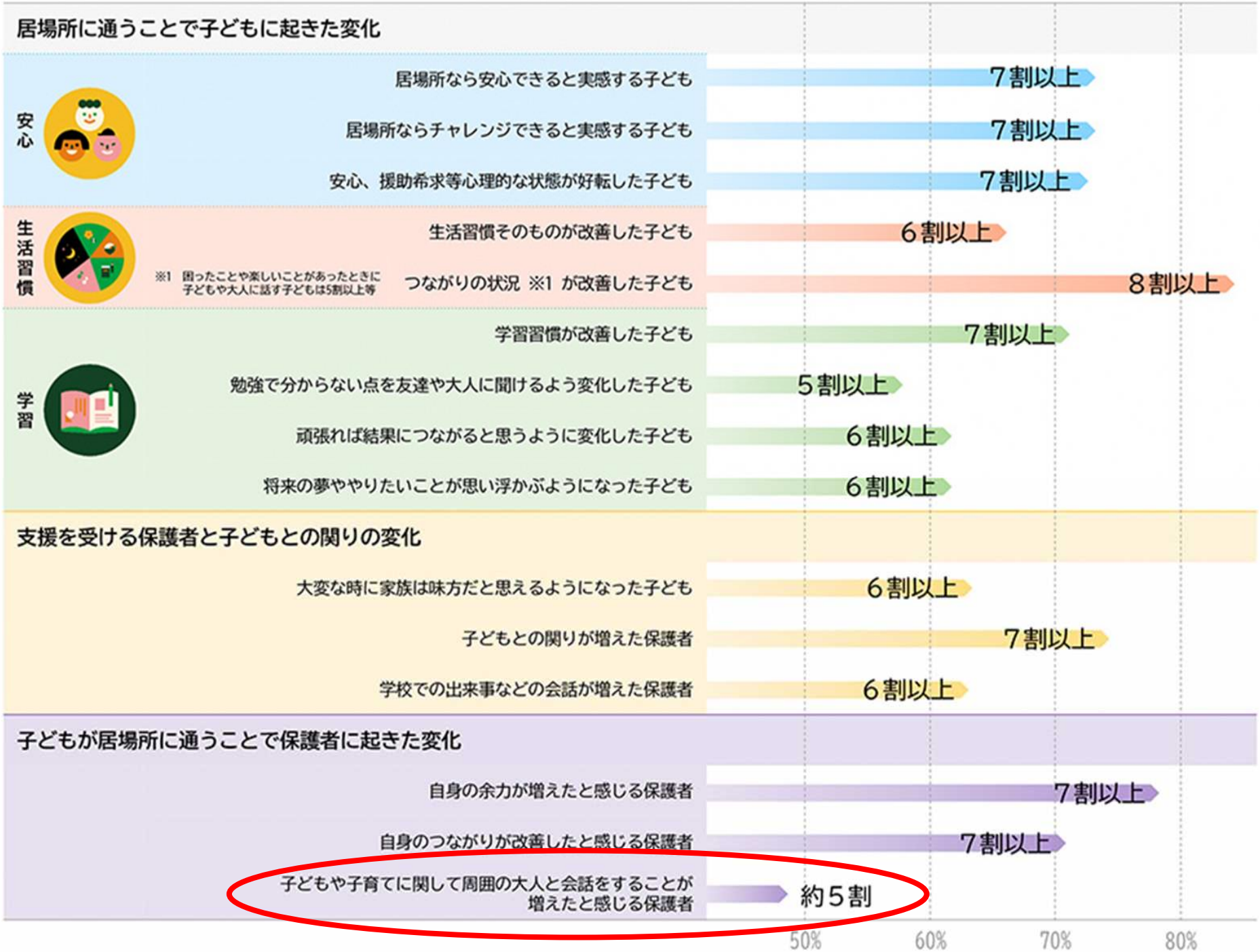
ふれあいハウス「りぼん」の一日（例）

- 14:30 宿題 個別学習
- 15:30 おやつ
- 16:00 遊び時間 or 体験活動
- 17:00 読書タイム
- 17:45 夕食
- 18:15 お片付け、帰りの用意
- 18:30 自由時間 お迎え
- 19:00

毎日の宿題だけでなく、一人ひとりの苦手に対応します。

本の読み聞かせや科学教室、畑づくり等、さまざまなプログラムを提供します。

バランスの良い夕食を毎回提供します。調理や片付けをお手伝いし、皆で食卓を囲みます。



参考：
子ども第三の居場所事業のアンケート調査分析報告書（2022）
https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/child-third-place

子ども第三の居場所の運営を通して感じていること

子ども達の生活支援において1対1の手厚いケアが必要な子どもが多い現状

貧困・いじめ・不登校など
目に見える困難は一部分

↓

包括的な支援が必要

子ども達の一番身近な保護者の影響が大きい
子どもだけでなく保護者の支援を検討

↓

子ども第三の居場所を利用する保護者への**「ペアレントトレーニング」の実施**

アウトプット・・・子育てお悩み座談会
インプット・・・子育て応援セミナーの開催

ペアレントトレーニング（子育て応援セミナー）開催の様子

★第一回
2024年1月28日（日）
10:00～11:30
場所：ふれあいセンターおおつ1F
テーマ「前向き子育てのパワー」
講師　松岡かおり（トリプルPジャパン）

★第二回
2024年2月18日（日）
10:00～11:30
場所：ふれあいセンターおおつ1F
テーマ「がんばれる子どもを育てる」
講師　松岡かおり（トリプルPジャパン）

セミナーの前にお気軽にどうぞ
子育てお悩み座談会
① 2024年1月27日（土）
18：00～19：30 頃
場所：ふれあいハウスりぼん

②2024年2月17日（土）
18：00～19：30 頃
場所：ふれあいハウスりぼん

NPO法人トリプルPジャパン
理事　松岡かおり　講師

NPO法人
Triple P Japan
特定非営利活動法人トリプルP ジャパン

『Triple P：前向き子育てプログラム』はオーストラリアで開発され、世界25カ国以上で実施されている親向けの子育て支援プログラムです。子どもの発達を促しつつ、親子のコミュニケーション、子どもの問題行動への対処法など、それぞれの親子に合わせた方法に変えていくための考え方や具体的な子育て技術を学びます。子どもの自尊心を育み、育児を楽しく前向きにしていくようにTriple Pはデザインされています。

HPより　http://triplep-japan.org/

Triple Pは、何が効果的であるかについての科学的根拠および研究に基づいた、世界でも数少ない子育てプログラムの一つです。Triple　Pは30年以上にわたる国際的な継続した研究に裏付けされており、その科学的根拠は増え続けています。

HP内エビデンスより

https://www.triplep-parenting.jp.net/jp-ja/about-triple-p/does-it-work/the-evidence/

「Triple P」の3つのPは
「前向き子育てプログラム」（Positive Parenting Program）」

【子育て応援セミナー】に関するアンケート

本日は【子育て応援セミナー】にご参加いただきまして誠にありがとうございます。
当法人では、【子育て応援セミナー】を今後より一層有意義なものにすべく、参加者の皆様にアンケートのご協力をお願いしています。どうかご協力のほどお願いいたします。

★各項目の□のあてはまるところに✓をお入れください。

Q1. ご記入いただく、あなたについて教えてください。

□24 歳以下　□25~29 歳　□30~34 歳　□35~39 歳　□40～44 歳　□45～49 歳　□50 歳～54 歳
□55 歳～59 歳　□60 歳以上

Q2.あなたと児童との関係について教えてください。

□保護者　□ご家族（祖父母等）　□その他（　　）

Q3.今回の【子育て応援セミナー】について、総合的にどのくらい満足していますか。

□大変満足　□満足　□ふつう　□不満　□かなり不満
（理由を教えてください）

※別紙アンケート参照ください

Q4. 現在、子育てにお悩みをお持ちですか？

□悩みがある　□特に悩みはない
（どのような悩みがあるか、教えてください）

Q5. 前問で「悩みがある」とお答えした方は、お悩みに対してどのように解決していますか。

□相談する相手がいる　□自分で解決している　□その他（　　）

Q6. 今回の【子育て応援セミナー】に参加して、子育てや悩みに関して何か変化がありましたか。

□変化があった　□やや変化があった　□どちらでもない　□変化はなかった
（どのような変化があったか、教えてください）

また、機会があれば今回のような「子育てに関するセミナー等」に参加したいと思いますか。

□思う　□やや思う　□どちらでもない　□あまり思わない　□思わない

Q7. 今回の【子育て応援セミナー】へのご意見・ご要望があれば、ご自由にお書きください。

ご協力誠にありがとうございました。

終了後の「アンケート」より

◆30～54歳までの保護者が参加

◆今回のセミナーに参加しての満足度　大変満足69%、満足23%、ふつう8%
　その理由:
「子育ての見直しが出来てよかった」「楽しかった」「みなさんと子育ての話ができたりお話がきけてよかった」「色々な方と出会えて子育ての話が聞けてよかった」「将来の育児に困ることやイメージをつかむことができた」「子育てはみんなはじめてなのに、学ぶ場がなく参考に出来る事例もないのでとても勉強になりました」「子育てについて改めて考えることができました」「自分自身の事も考える機会となってとても満足している」「いろんな育て方を学べました」

◆現在子育てに悩みがありますか？　悩みがある 69%、悩みはない　31%

◆今回のセミナーに参加して変化がありましたか？
　変化があった　54%　、　やや変化があった　39%　、どちらでもない 7%

◆また機会があればこのようなセミナーに参加したいと思いますか？
　思う　78%　、　やや思う　15%　、どちらでもない　7%

● 「子育て応援セミナー」実施において検討したこと

①保護者の方が参加しやすい日時の設定
②子どもも一緒に参加出来き行ってみたいと思うような明るい環境づくり
（１Ｆでセミナー中子どもは２Ｆで当スタッフが見守る等）
③参加者全員に昼食を用意し、セミナーの後に子ども達と一緒に食べる
また座談会では、軽食を楽しみながら気軽に悩みをお話しできるように配慮する
④終了後のアンケートを実施することで、参加者の意見等も今後の参考にする

● 今後の展開

「今回の子育て応援セミナーをきっかけに、保護者を含めた包括的な支援を推進していく」

・トリプルPの前向き子育てセミナーは全５回の取り組みであるため、
今回は2回開催出来たが、全５回の終了を目指す
・セミナー以外でも、居場所での子どものお迎え時や保護者同士が話ができるような
機会の確保
（※2024年度は、地域交流「ふれあい子ども祭り」の開催と子ども第三の居場所を
ご利用している方を対象に「親子遠足」を実施予定）
・「地域の子ども達を、地域で見守り育てる」各学校や関係機関との連携を更に高めていく

未来を生きる子どもたちの笑顔を守ること

そのまた未来の子ども達に心の笑顔を
とどけるために
今私たちができること

これからも活動を続けていきます！

ご清聴ありがとうございました

県内の相談支援事業所と連携した戸別支援

一般社団法人キラ☆ニコ
代表理事　後藤　真美

キラニコの取り組み

困っている家庭や子ども達
はずかしい
届ける
届ける
うまく言えない
県内の
相談支援事業所
さん達
伝える
相談
購入!!
届ける!
キラニコ

配布を協力してくれた相談支援事業所さんの声

・希望支援品に関しては事前にアンケートを取りました。
その中でも、お米、即席麺、缶詰め、お菓子、
日用消耗品の希望が多くありました。

・物価高騰の影響から主に非課税世帯や、母子家庭、
父子家庭にお配りさせて頂きました。
『助かります。』
『徳島県から、こんなに支援して頂けるなんて。
ありがとうございます。』
『明日、食べるものがなくてどうしようかと
思っていたので本当に助かりました。』
など、とても喜んで頂けました。

配布を協力してくれた相談支援事業所さんの声

・この事業に参加させて頂き、物品の管理や運搬など
労力がかかる部分もありましたが、
お届けさせて頂いた方から感謝の言葉を頂き、
生活困窮の方に必要な物資をお届け出来るので
今後も是非、同様の事業の継続をお願いしたいです。

・クリスマスや新学期など長期休みや、イベントの時期に
なると、子ども達の家庭の格差が大きくでるので、
その時期に子ども達にクリスマスのお菓子の詰め合わせ
や、お正月のお菓子詰め合わせを配布することが出来て
子ども達は大喜びでした。ありがとうございました。

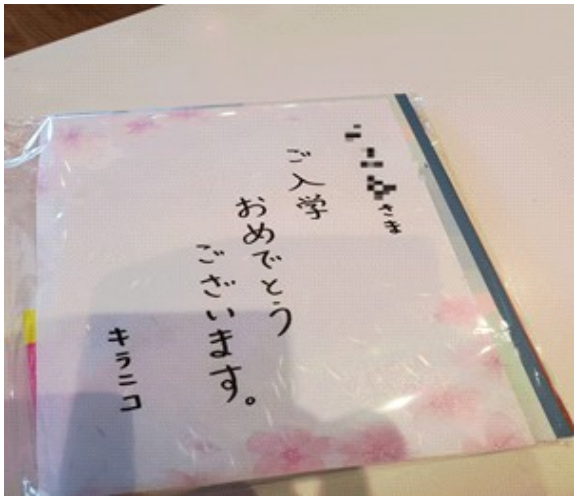
配布を協力してくれた相談支援事業所さんの声

・生活困窮世帯や、物資高騰により鉛筆や靴下など
買ってもらえない子どもも多く、
キラニコさんが買って届けてくれた物を子ども達に
配布することが出来てとても喜んでいました。
ありがとうございました。

☆クリスマスや新年に子ども達に配布したお菓子☆

相談支援事業所さんにも協力頂き、
約100件の子ども達に配布しました。

☆新生活前に子ども達に配布した文房具類☆



☆その他☆

☆年末前に手袋や靴下の配布をしました☆

靴下に穴が開いてる子どもさんや
生活困窮家庭の大人の方も多く、
年末年始に配布出来て良かったです。

☆緊急の対応☆

明日食べる物がないという親子がいる！と、
相談支援事業所さんから連絡が入り
緊急で届けた物資です。

福祉がつなげるまちづくり
～つながるＫＯＫＵＦＵプラットフォーム～

「令和５年度徳島県生活困窮者支援活動経費助成事業費補助金」
活用事業報告

社会福祉法人
徳島県社会福祉事業団
ふらっとＫＯＫＵＦＵ
係長　　鉄野　由美子

社会福祉法人徳島県社会福祉事業団の概要

～私たちと一緒に、新しい福祉の未来へ～Together with us into a new welfare future

1972年に設立、県と一体となって社会福祉事業の推進を図り
広く県民福祉の向上と増進に寄与。

2021年９月に開設した『ふらっとKOKUFU』をはじめ、
障害者支援施設『希望の郷』、障害児入所施設『未来』の運営、
相談支援事業などの社会福祉事業、県立施設の指定管理施設や
徳島県障がい者スポーツ協会の運営などの公益事業、幅広い事業を実施。

障害者支援施設
希望の郷

ふらっと
KOKUFU
つながれば広がる　ささえあえば安心　ふらっとKOKUFU

未来
MIRAI

ART & CULTURE
徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター

TOKUSHIMA
Para-Sports
Association

地域生活支援拠点　ふらっとＫＯＫＵＦＵ

～つながれば広がる　よりそい支え合う　だれもが活躍できる社会の実現へ～

＜実施事業＞

- ○ ワーク＆デイ　ラクリエ（生活介護・就労）
- ○ ふらっとホーム（共同生活援助・短期入所）
- ○ フラット未来（児童デイ）
- ○ 相談支援事業所きぼう（相談支援）
- ○ **ふらっとCafé（地域共生事業）**

「総合的な地域生活支援の拠点」
「子どもから大人までの切れ目のない支援」
「 地域共生の拠点」

遊びの場等を通じて
子どもたちの
「生き抜く力」
「育ち」を支援！

こどものいばしょ

身近な場所に
子どもの「第三の居場所」を！

ユニバーサルカフェを活用して
「子どもの居場所づくりをきっかけとした
まちづくり」を推進します！

六次産業化
オリジナル商品
「粉ものがたり」

みんなで参加！ノウフク連携

ノウ（自然、農林水産業）とフク（人、福祉）
の連携から多様な役割と場をつくり、
一人ひとりの存在を高めます！

↑1階　ほっとスペース

↓2階パブリックホール

福祉避難所

令和４年度　ふらっとＣＡＦＥ（地域共生事業）　特別実施事業
「　にぎわい創出×まちづくり事業　」

○人を呼び込む「地域交流イベント」

- だれもが集える場所
- 顔の見える関係
- **地域の課題発見**

○安心・安全「地域の防災拠点」

- 福祉避難所の運営
- 自主防災組織との連携
- **平時から顔の見える関係づくり**

ふらっと KOKUFU

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

○地域の農家と連携した「地産地消」

- 飲食販売の出店等による
  農作物の地域での消費
- 環境に優しい生活

ユニバーサル社会推進

「徳島県版ユニバーサルカフェ」認定

①子どもの居場所づくりイベント

②子ども食堂

③いつでも相談できる体制づくり

子どもがボランティアとして参加

中学生の活動の場

フードパントリー

食の支援、交流スペースづくり

地域企業等と連携した職業体験推進事業

コーヒー屋さん体験

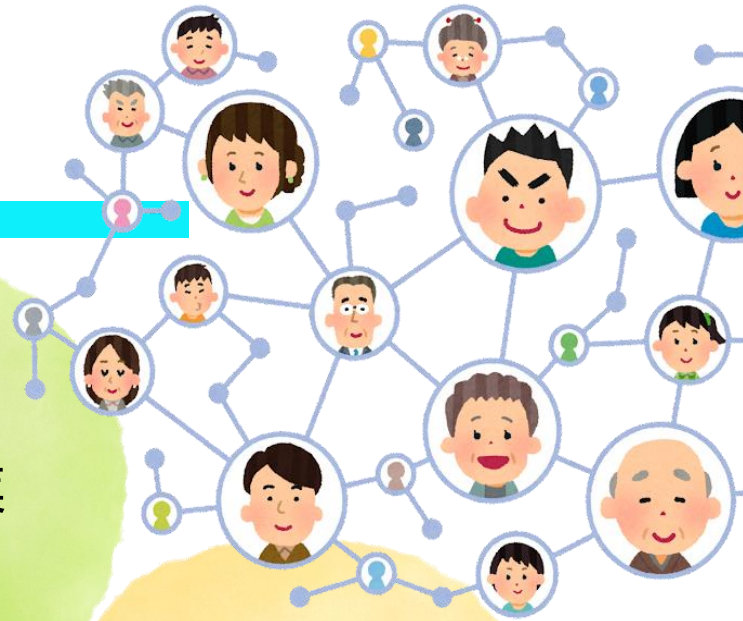
お弁当屋さん体験

地域企業等と連携した職業体験推進事業

美容部員体験

アナウンサー・カメラマン体験

「しくみ」をつくる → プラットフォーム



福祉事業所

国府地区
自主防災連合会

地元企業

国府地区小学校
国府支援学校
国府中学校
徳島県内大学

ふらっと
KOKUFU

地域住民

行政
子ども食堂
ネットワーク

国府町
商工会青年部

NPO法人
ボランティア団体

つながるＫＯＫＵＦＵプラットフォームの構築

ご清聴ありがとうございました

事業実施報告

生活困窮者自立支援プラットフォーム

徳島こども食堂ナビ

「徳島こども食堂ナビ」管理運営委員会とは？

徳島県内の子ども食堂情報まとめ
WEBサイト「徳島こども食堂ナビ」を作成し、
ボランティアで管理運営している団体です。
他団体や教育機関とコラボしたイベントも行っています。

徳島こども食堂ナビ

QRコードからサイトをご覧ください

フードパントリーの実施

生活困窮者自立支援プラットフォームの補助金を活用し、2023年12月~2024年1月にかけて県内3箇所、小松島市・東みよし町・徳島市でフードパントリーを実施しました。

※フードパントリーとは、必要とされる方へ食料品や生活必需品を無料で配布する活動

配布内容

県からの物資　＋　ナビ厳選カイロのセット or 生理用品セット

イベントと組み合わせて開催

支援が必要な状況（生活困窮状態）にある人は
そのことを周りの人に知られたくないと
考える人も多く、支援を受け辛い状況にある

↓

イベントと同時開催することで足を運びやすくした

①小松島市　こども食堂と共催

実施日2023年12月9日(土)

50組募集し、44組に配布
（予約は45組で1組キャンセル）

②東みよし町　クラシックコンサートと共催

実施日2023年12月16日(水)

50組募集し、34組に配布
（予約は35組で1組キャンセル）

スマホ等が使えず、事前予約ができなかった高齢者等9組へも当日配布

「こども食堂スカイ」さんのお弁当も一緒に配布した

③徳島市　城北高校　阿波人形浄瑠璃公演と共催

実施日2024年1月27日(土)

100組募集し、100組に配布

お子さんの利用者に対し
お菓子の掴み取り企画も実施

城北高校開催時の写真

意識したポイント

◉Googleフォームを活用し、事前予約制に

→当日の混雑防止、ナビのメインターゲットである子育て世帯を中心に集客

◉他イベントと同時開催

→参加のハードルを下げ、足を運びやすく

◉参加者アンケートの実施

→次回開催（開催できるかは現状未定）に向けての情報収集、
ナビのサイト運営をより利用者のニーズに応えられるように情報収集

アンケート結果（利用者）

・生理用品の配布が好評

・事前予約制にしたことで、こども連れの利用者から待ち時間がなくスムーズ　でありがたかったとの意見多数！

・阿南市でも開催してほしいとの意見が複数あった

・お菓子が特に喜ばれた

・コンサートや人形浄瑠璃の公演と共催だったので、親子で、普段はなかなか　できない体験ができ嬉しかったとの意見多数！

アンケート結果（スタッフ）

・人の役に立てる楽しさを体感できた

・人生初のボランティア参加をして楽しく有意義だった（高校生）

・ボランティアというものに興味が持てた

・今回参加したことで、他のボランティアにも行ってみたくなった

・多世代のスタッフや利用者と接することができ、新しい出会いがあった

・子ども食堂やフードパントリーというものをあまり知らなかったのですが、 参加してみて、こういった活動がたくさんの人を笑顔にしていることが分か りとても良い経験となった

プラットフォーム
（孤独孤立＋生活困窮）での事業実施報告

報告者：子どもゆめスクエア
副代表兼事務局　木村　友紀

はじめまして☆子どもゆめスクエアです！

徳島県の中西部地域を中心に、子どもたちの芸術文化体験・創造体験・スポーツ体験等子育て支援活動、子どもから大人までが交流を深められる居場所作りを展開し、地域みんなで助け合い育ちあう活動を目的としています。主にNPO法人眉山大学と連携し、国際交流事業やかもじ食堂（こども食堂）などを運営しております。

活動場所：吉野川市鴨島児童館
（吉野川市鴨島町知恵島1208-1）

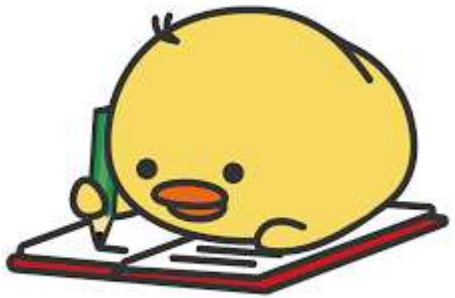
海外の文化を知ろう

かもじ食堂（こども食堂）

もぐもぐフェスタ

子どもたちがお祝い♡手作り結婚式

実践報告１　学習サポートプロジェクト



日時：令和６年１月１９日・２月２日・９日・１６日
３月１日・８日・１５日・２２日
（毎週金曜日１６時～１８時まで開催）

場所：鴨島児童館

大学生参加者：四国大学４名・徳島大学３名・中央大学１名（東京）（計８名）

子ども参加者：小学１年生３名・小学２年生４名・小学３年生１名・
小学４年生３名・小学５年生１名・
中学１年生２名・中学３年生１名。　（計１５名）

実践報告1　学習サポートプロジェクト

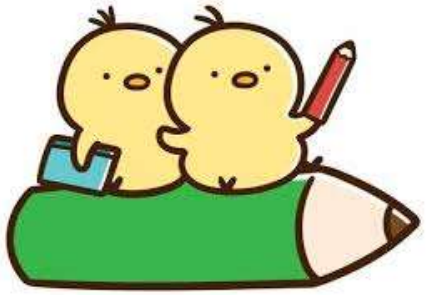
物価高騰のため、塾へ通いたくても通えない家庭への支援。

大学生と交流する機会を作りたい！

学習の遅れが見られる子たちのサポート。

学習する意欲ややる気を大切に！

様々な理由で学校へ行けず、又は休みがちな子どもたちへの支援。



将来に対する希望や夢が持てる！

実践報告1　学習サポートプロジェクト

実践報告1　学習サポートプロジェクト

私たちが教えるのと
大学生が教えるのとでは
子どもたちの意欲が全然違う！

中学生の女の子。
インフルエンザになり、
来られない日もあったが、
英語が苦手で休まず来た。
最後の実力テストで英語の成績が
上がったととても喜んでいた。
将来の夢がまだ決まっていないとのこと。
大学生の子たちと将来についての話もでき、
未来について考える良いきっかけとなった。

勉強が終わってから、
大学生の折り紙先生に
折り方を教えてもらうことを
楽しみに来ていた小学生の女の子。

中学生の男の子でとても繊細な子
学校を休みがち。
勉強の遅れを心配して参加。
数学を中心に大学生と学習。
分かりやすくて参加して良かったと
親子とも喜んでいた。

大学生のお兄ちゃん＆お姉ちゃんが
とても優しいので、
会えるのを楽しみに来ていた子も。
また、このような機会を設けて欲しいと
いう声が多数あがった。

集中力があまり持たないので、
長い時間できないかも！と
保護者が心配していた子も。
しっかり１時間半程集中して学習できていた。

実践報告1　学習サポートプロジェクト

大学生と放課後学習いかが

鴨島児童館で週1回

来月末まで

宿題や問題集の解き方助言

2024.2.23(金）

徳島新聞さんに
掲載していただきました。

実践報告2　かもじサンライズ食堂

●朝ご飯を食べずに
学校へ行く子ども

→ めんどくさい。ギリギリまで寝てる。
保護者が仕事で朝ごはんを作ることができない。
パン一枚。お菓子で済ますなど

↓

昼食時までもたない！
お腹がすいて学習に集中できない。
休み時間にお菓子を食べる。（高校生）
元気がない。ぼーっとしている。

↓

年を重ねると生活習慣病になる危険性も！

★物価が上昇し、家計を圧迫
食費を抑えたい。
★お昼の給食１食のみ。
★朝、子どもにどのようなご飯を
食べさせたらいいかわからない。
★栄養不足。
★保護者が忙しく、一人で朝食を
食べる子などなど

実践報告２　かもじサンライズ食堂

●バランスの良い朝ごはんをしっかり食べることによって、
　集中力が高まり、日々健康でいられることに気づく！
●朝ごはんの大切さや必要性を感じて欲しい！
●美味しく栄養のあるものを食べ、一日元気に過ごす！

サンライズ（朝ごはん）食堂を実施。

対象：子ども園へ通う幼児・小学生・中学生・高校生とその保護者

時間：７時～８時半　　開催場所：鴨島児童館

実践報告２　かもじサンライズ食堂第一回目

令和５年１２月１日（金）

料理人：割烹料理店「魚蔵」松井栄一さん

メニュー：エビの出汁を使った牛肉茶漬け＆ゆで玉子
ブロッコリー＆みかん

参加者：大人４１名・子ども４５名（合計８６名）

実践報告２　かもじサンライズ食堂第二回目

令和６年１月２３日（火）　　料理人：居酒屋あじろ　藤島　裕志さん

メニュー：のり弁＆お味噌汁

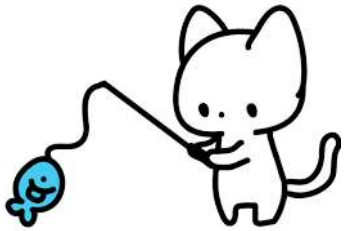
参加者：大人２２名・子ども２７名（合計４９名）

実践報告２　かもじサンライズ食堂第三回目

令和６年２月２２日（木）　　料理人：Murata onigiri Standさん

メニュー：梅とシャケと猫おにぎり＆出汁香るお味噌汁＆みかん

料理人：大人２７名　子ども３４名　（合計６１名）



実践報告２　かもじサンライズ食堂第四回目

令和６年３月１１日（月）　　料理人：TOGO　DELI　KICTHENさん

メニュー：具たくさんトマトミネストローネ＆
くまごろうさんのバケットでオープンサンド

料理人：大人２５名　子ども２０名　（合計４６名）

実践報告2　かもじサンライズ食堂

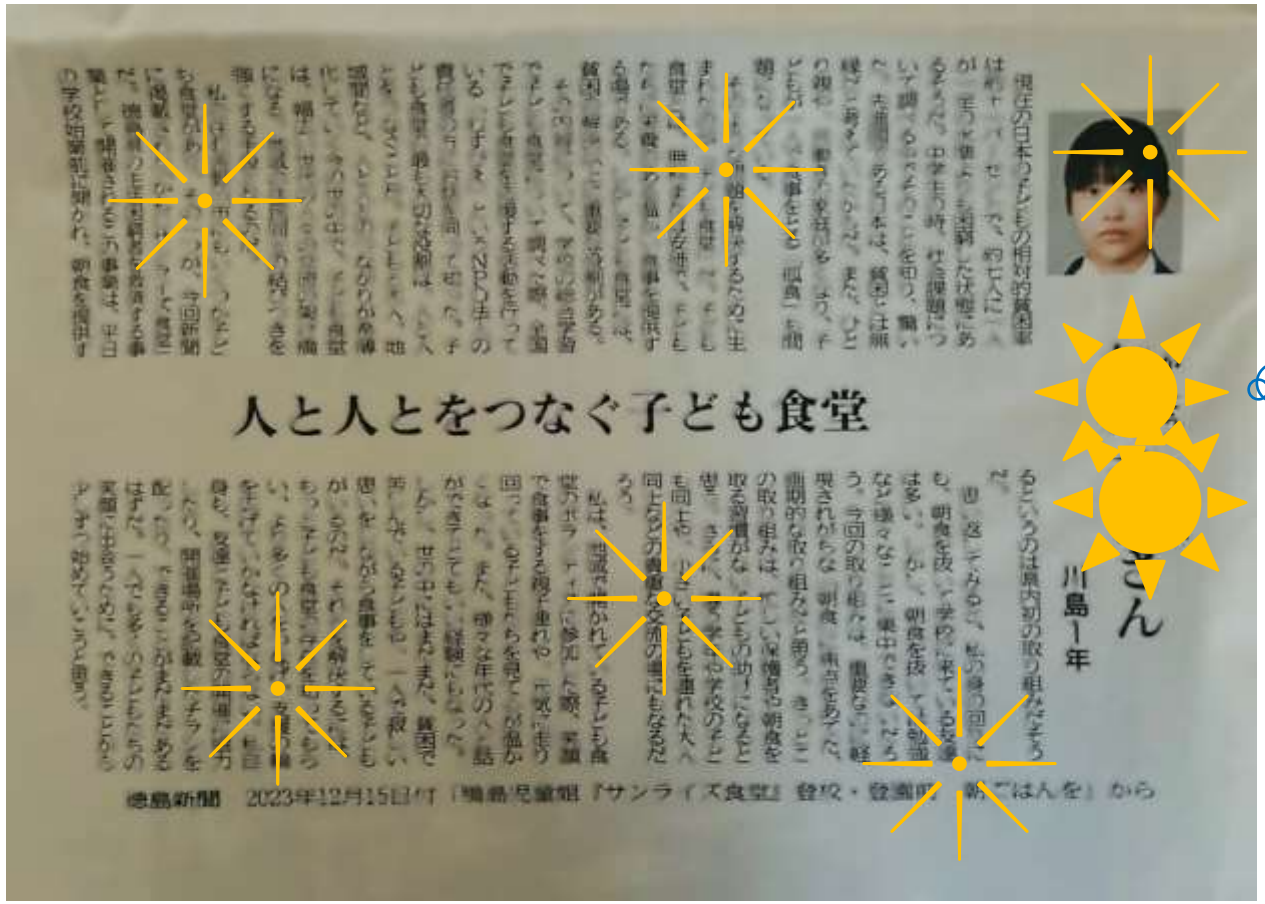
2023.12.15(金）

徳島新聞さんに
掲載していただきました。

動画もyoutubeで「徳島新聞朝ごはん食堂」と
検索していただくとご覧いただけます。

実践報告２　かもじサンライズ食堂

2024.3.3(日）
徳島新聞社さん。



人と人とをつなぐ子ども食堂

川島1年

徳島新聞　2023年12月15日付「鳴門/児童館『サンライズ食堂』登校・登園時『朝ごはんを』」から

高校生の子が
朝ごはん食堂のことを
書いてくださった
記事です。

実践報告2　かもじサンライズ食堂

徳島県支援活動ネットワークchにも朝ごはん食堂の動画を
掲載していただきました。

実践報告２　かもじサンライズ食堂に参加した親子の感想

●普段は、パンだけとか変わり映えしない朝食で、栄養面なども気になりつつ、なかなかちゃんと食べさせる事ができていませんでした。そんな中、朝ごはん食堂に参加し、朝からみんなと食べる事も新鮮で、子どもたちは、出されたご飯を「美味しい！」「また来たい！」と言いながらお腹いっぱい食べて元気に登校して行きました。やはり、朝からちゃんと食べるって大事なんだと感じました。メニューも勉強になります。ぜひこれからも継続して欲しいです。またの開催を心待ちにしています。（母）

●本来なら、朝のバタバタする時間を、子どもたちが大好きな「児童館で朝ごはんが食べられる！」って言うと喜んで起きてくれて美味しい朝ごはんを食べることができてとっても嬉しかったです。普段なら、子どもがいるとなかなか買い物に行けなかったり食べに行けなかったりするので、児童館で朝ごはん食堂をしてくれるととても行きやすかったです。美味しかったし、これからもずっと開催して欲しい企画だと感じました。（母）

●朝ごはん食堂、ごちそうさまでした。朝の忙しい時間に朝食の準備や片付けをしなくていいのは本当に助かりました。朝からしっかりと栄養のある、美味しい食事を頂けて母子共に大満足でした。子どもたちは、「美味しかった！」「猫ちゃん可愛いかった。」「無料やけん有難い」と言っておりました。（母）

●地元の有名なお店の朝ごはんを食べる事ができて、学校へ行くのも元気で登校する事が出来ました。「行ってらっしゃい」と児童館の先生方や朝ごはんを作ってくださった方々に送っていただいて嬉しかったです。これからも続けて欲しいです。（小学生）

●毎日変わり映えのない朝ごはんに子どもたちも私も食が進みません。高校生ともなると朝の支度に時間がかかり、朝ごはんを食べる時間がありません。朝ごはん食堂を開催していただけたおかげで、子どもたちはもちろん、私もどんな朝ごはんになるだろうとワクワクしながら児童館へ向かう、月一の楽しみでした。子どもたちは早起きして、私も朝ごはんを作らなくていいので、朝から子どもたちとの会話が弾みます。朝からしっかりとご飯を食べると午前中の活力が違うと子どもたちの気づきもありました。児童館の先生方や準備をしていただいている方々、朝早くから子どもたちのために感謝です。（母）

実践報告２　かもじサンライズ食堂に参加した親子の感想

●私はいつも朝食を食べずに学校へ行っていました。月一で開かれる子ども食堂に行く事で気が付けば朝食を取るようになりました。また栄養価の高い食材が使われていて、美味しい上に栄養もしっかりととる事が出来ました。朝から、沢山の人たちが元気に声かけをして頂いて、一日頑張ろうという気持ちになれました。そして、朝早くから準備してくださっているのを見て、とても感謝しました。（高校生）

●いつもは朝はバタバタで食べる時間や食べる物も別々ですが、みんな揃って同じ物を楽しく食べることができました。いつもと違う環境でご飯を食べることができて、子どもたちもとても喜んでいました。ありがとうございました。（母）

●朝ごはん、とても有難かったです。朝はいつもバタバタして、子どもたちともご飯とも向き合えず、ただただ時間との闘いの毎日でした。が、朝ごはん食堂ではお店の方やボランティアの方のおかげで、栄養バランスの良い温かいご飯を子どもと楽しく話をしながら笑顔で食べることができました。時間にも気持ちにも余裕ができたように思います。また皆さんと一緒に食べることで、元気なパワーをいただけたような気がします。
今回は、ステキな朝の時間をありがとうございました。（母）

●３人の未就学児を育てています。朝ごはんはバタバタしてしまい、おにぎりだけ、食パンにチーズをのせただけ等どうしても栄養が偏ったメニューを子どもたちだけで食べてもらうようになりがちです。また、保育園に行きたくない！と朝ごはんがなかなか進まないことが多く、私がイライラしてしまうこともあります。しかし、児童館での朝ごはん食堂の日は子どもたちがとても楽しみにしていて、身支度もスムーズで、朝ごはんも嬉しそうに食べてくれます。栄養のあるメニューを子どもをゆったりとした気持ちで見ながら食事を共にできたことが私が一番参加して良かったと思うことです。朝ごはんは一日の生活リズムをつくる、脳を活性化させる等とても大切な習慣です。粗末になりがちな朝食を見直そうとも思える食堂でした。朝食後に児童館を出る際に、先生方に「行ってらっしゃい。」と言っていただいたのも心が温まりました。ありがとうございました。(母）

学習サポートプロジェクト＆
かもじサンライズ食堂を実施して！

その他　ママ食堂について

母と乳幼児 ランチ楽しむ 鴨島児童館

子どもと一緒に食事を楽しむ母親＝吉野川市鴨島町の鴨島児童館

いつもありがとう
ございます

2024.5.3(金）

徳島新聞さんに
掲載していただきました。

ご清聴ありがとうございました

令和5年度 徳島県
生活困窮者支援活動経費
助成事業実績報告

団　体　名：社会福祉法人　共生会
実施事業所：障がい者就労支援センターかがやき
場　　所：ユニバーサルカフェ
「きららカフェ」

阿波市市場町香美字渡10番地1

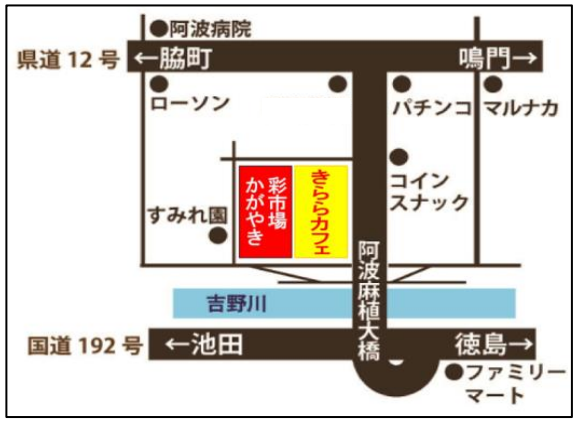
2024.5.15

ユニバーサルカフェ

きららカフェの紹介

「徳島県版ユニバーサルカフェ」の認定を受けている『きららカフェ』では、かがやきで製造した菓子・弁当等の販売や軽食を提供しています。

毎月１回開催しているイベントは、子ども食堂、キッズ体験、フードパントリーや販売は、お子さまから高齢者の方が集い楽しめる場所として地域の皆さまに親しまれています。



かがやきの取組み

就労継続支援B型事業所「かがやき」とは…

❀私たちはこんな仕事をしています！❀

食品加工

弁当・菓子・パン・煎餅製造

☺お菓子の袋詰

〔作業内容〕
- 弁当製造
- 菓子製造
- 洗浄　など

☺食器の洗浄

毎日忙しいけど、作業をがんばっています。どの作業も大好きです。

農業・乾燥野菜

☺野菜の栽培

〔作業内容〕
- 野菜の栽培
- 収穫・出荷準備
- 配達　など
- 野菜の乾燥処理
- 粉砕、袋詰め
- 洗浄　など

☺野菜の乾燥処理

かがやき農園で育てた野菜を乾燥パウダーにしています。かがやきのお菓子にも使用していて、おいしいです。

きららカフェ

営業日時:月～金曜日 10:30～15:30

☺レジ接客

〔作業内容〕
- 商品陳列
- レジにて接客
- 掃除　など

☺商品陳列

一生懸命作った商品をお客さんが手に取って買ってくれるのを見ると、とても嬉しいので、これからもがんばろうと思います。

受託作業

☺鍵組立

作業をみんなで協力して確実にするように心がけています。講座では受講生の方が楽しめるような工夫を考えています。

☺パソコン講座

〔作業内容〕
- 企業下請作業
  造花ちぎり
  鍵組立など
- ギフト商品の仕入
  販売、ラッピング
- 福祉自動車運転業務
- パソコン講座講師
  調理実習講師補助
- 配達　など

販売活動（移動スーパー）

- 販売を通じ人と触れ合いながら、接客マナー・金銭の取り扱いや言葉づかい等を学びます。

地域支え合い体制事業
"ほっとかない"事業の実施

皆さんから直接商品を見て自分で買い物が出来ると喜んでいただけるので行くのが楽しみです。

販売会　月1回 土曜日 10:30～13:30

<子ども食堂>

- ワークショップ
- 菓子/惣菜/野菜販売
- キッズコーナー　など

❀当法人の地域における公益的な取り組みの一環として実施しています。

1日のスケジュール

●8:45	朝礼・体操
●8:50～11:45	作業
●11:45～12:45	昼食・休憩
●12:45～15:50	作業
●15:50～16:00	報告・清掃など
●16:00	帰宅

（施設外就労などにより変更になる場合もあります）

事業の目的

地域の子ども達と大人がつながる「地域交流の場」としての側面を持ち、安心して地域の子どもや大人たちが、笑顔で暮らせる社会となるための活動を提供することを目的とする。

実施内容①

子ども食堂イベント開催

10月28日(土)10:30～13:30

地域交流会（ハロウイン）

＊子ども食堂

＊クラッシックライブ

＊スタンプラリー等体験

＊参加人数：２００名程度

イベントの様子

演奏家による１００万人のライブコンサート

子ども食堂　お弁当の配布

実施内容②

子ども食堂イベント開催

12月23日(土)10:30-13:30

クリスマスフェア

＊子ども食堂

＊ボランティアによるライブ

＊クッキング体験他

＊参加人数：１５０名程度

イベントの様子

クリスマスかがやきライブ

キッズコーナーでの工作

実施内容③

フードパントリーの実施

11月25日(土)、1月20日(土)

店舗・移動にて

＊食料品・日用品の配布

＊配布件数：各５０軒程度

フードパントリーの様子

実施内容④
生活困窮者自立相談支援機関との連携・広報

- 阿波市社会福祉協議会「くらしサポートセンター阿波」との連携
- 社会福祉相談窓口を上記開催期間に設置し、必要な支援や関係機関との連携を図る。事業内容や徳島県生活困窮者自立支援について広報を行う。

広報配布資料

お問い合わせ

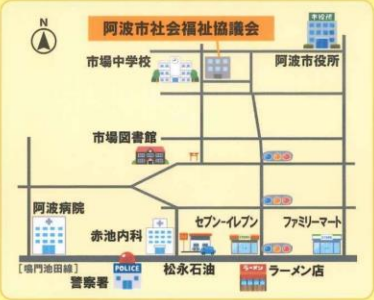
相談無料

個人情報は厳守します

くらしサポートセンター阿波

社会福祉法人 阿波市社会福祉協議会

〒771-1622 徳島県阿波市市場町興崎字北分60
TEL 0883-36-5511
FAX 0883-36-7040



時間 ● 午前9時から午後4時
曜日 ● 月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）

吉野支所	徳島県阿波市吉野町西条字大西102 TEL 088-696-2386 FAX 088-696-5299
土成支所	徳島県阿波市土成町吉田字寺ノ下1-1 TEL 088-695-4802 FAX 088-695-4806
阿波支所	徳島県阿波市阿波町久原36-2 TEL 0883-35-6033 FAX 0883-35-6044

《生活困窮者自立支援事業》

あなたの暮らしを支援します

くらしサポートセンター 阿波

社会福祉法人
阿波市社会福祉協議会

簡易版

とくしま いいサポート

日常生活自立支援事業

このようなことで困っていませんか?

- 福祉サービスの種類や利用の仕方がわからない
- 認知症の親が悪徳商法にだまされないだろうか・・・
- 公共料金や医療費の支払い銀行などでの払い戻しがうまくできない
- 役所から届く書類をどうしたらいいのかわからない
- 通帳や印鑑 大切な書類をどこに置いたか忘れてしまう
- 計画的にお金を使いたいけれど迷ってしまう

高齢者の方、障がいのある方が、お住まいの地域で安心して暮らしていけるよう、社会福祉協議会がお手伝いします。

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
とくしま権利擁護センター

（３）今年度の県施策

①孤独・孤立解消アプローチ支援事業

②心のサポーター養成講座

③生活困窮者自立支援相談事業

④生活支援ネットワークＷＥＢサイト

⑤サポート事業者の募集、マッチング

（３）今年度の県施策

①孤独・孤立解消アプローチ支援事業

不登校児童・生徒が増加する現状を踏まえ、民間団体が行う「居場所づくり」や「家族への啓発」等の「アプローチ活動」を支援

【支援対象】※県ＨＰ等で公募予定

「不登校対策をはじめとした孤独・孤立対策」に取り組む民間団体

※（予定）１０団体、＠５０万円上限

（３）今年度の県施策

②心のサポーター養成事業

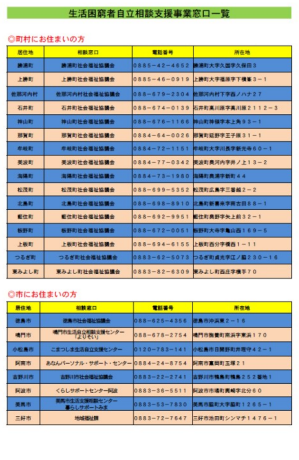
・　家族や同僚など身近な心の支えとなる相談役「**心のサポーター**」を養成するため、県内企業や団体、地域住民を対象に講座開催

・　なお、県では、心のサポーター養成を希望される団体等の皆さまへ講師を派遣させていただきます

（3）今年度の県施策

③生活困窮者自立支援相談事業

- 生活の不安や悩みごとの<u>相談窓口を全市町村に設置</u>
- 相談者の困り事に応じた<u>包括的・個別的な支援</u>
- 日々の支援活動の中で生活にお困りの方がいれば窓口の案内をお願いします



←県ＨＰはこちらから

（3）今年度の県施策

④生活支援ネットワーク

支援団体の情報を
県ＨＰで公開（160団体）

随時募集中ですので
皆さまの情報もご登録を
お願いします

登録はこちらから→

（３）今年度の県施策

⑤サポート事業者

- 支援団体を応援する民間企業等を募集中
- 応援企業を募集し、団体とのマッチング実施

※現在「２６事業者」登録

詳細はこちらから→

（４）今後の予定

○「支援事業」、「心のサポーター養成」の実施

○「プラットフォーム交流会」の開催

・現地交流会　　・オンライン交流会

・セミナー

○ メールマガジン発行

各団体からの告知や、支援情報の発信